

「言葉」の魔法

アメリカのスタンフォード大学の心理学者たちが、小学校5年生400人余りを対象に行った実験があります。

まず、子どもたちに簡単な図形のパズルを与えます。そして、テスト終了後に子どもたちにテストの点数を伝え、成績に関わらず一人一人の子どもを褒めます。

半数の子どもには、「あなたは、頭がいいね」と、子どもの『賢さ（能力）』を褒めます。残りの半数の子どもには、「一生懸命頑張ったね」と、子どもの『努力（過程）』を褒めます。

その後、2回目のテストをしますが、「1回目と同じ程度の易しいパズル」と「1回目よりも難しいけど、挑戦しがいのあるパズル」のどちらかを選ぶように伝えます。

すると、「頭がいいね」と『賢さ』を褒められた子どものほとんどが、易しいパズルを選びました。一方、「一生懸命頑張ったね」と『努力』を褒められた子どもの9割近くが、難しいパズルにチャレンジしました。

どうやら、賢さを褒められた子どもは、自分を賢くあろうと見せるために、間違えてしまうことを恐れるようになってしまうようです。それに対して、努力を褒められた子どもは、問題が解けようが解けまいが、さらに努力を認められるようにと、難しい問題に挑戦するようです。

前期日程が終了し、7日には子どもたちに通知表が手渡されます。

私も親としてそうでしたが、学校から受け取った通知表を手にとると、どうしても「よくできる」がいくつあるとか、「もう少し」がいくつあるとかに目がいてしまい、つい「もっと〇〇した方がいいんじゃない？」という話になってしまいがちです。しかし、通知表には、子どもたちの「一生懸命頑張った」が凝縮されています。

まずは、お子様と一緒に通知表を眺めながら、子どもの頑張りを一緒に喜んでいただき、子どもたちの「努力」や「過程」を認める声かけをしていただければと思います。

「よくできる」があったら、「先生も見てくれていたのね」と、頑張っていたことを褒める。

「もう少し」があっても、「誰も気が付かなかったかもしれないけど、毎日努力をしてきたことは、お母さんがわかってる！」と、続けてきた努力を褒めてあげてください。そして、「あなたが頑張っていることは、必ずできるようになるから大丈夫！」と、近い将来、絶対に結果が出ると、励ましてください。

「後期は、どんなことを頑張ってみようか」と、一緒に考えていただけると、うれしい限りです。

通知表が子どもたちにとって、努力と成長を実感できる喜びに変わるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



全国学力・学習状況調査の結果

4月に6年生を対象として実施された全国・学力学習状況調査の結果についてご報告いたします。国語では全国平均を5ポイント以上、算数・理科では0～5ポイント上回る良好な結果でした。

児童質問紙調査の領域では、生活習慣・学習習慣、規範意識・自己有用感のほとんどの項目で、肯定的回答の比率が全国平均を上回りました。

肯定的な回答が高かった主な項目として、「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」があり、全体的に自己有用感が高いことがわかります。また、「学校に行くのは楽しいと思いますか」「読書は好きですか」の肯定的な回答が高かったこともうれしく思いました。

特に大きく全国平均を上回っていたのが、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の項目です。地域の方々に支えられている大洲小学校ですが、子どもたちの中にも、地域に貢献したいとの思いが育まれているようです。

全国平均正答率(%)との比較

	大洲小	市川市	千葉県	全国
国語	◎	67	66	65.6
算数	○	65	63	63.2
理科	○	64	63	63.3

※ 平均正答率は、全国は小数第1位まで、千葉県及び市川市は小数点以下を四捨五入した結果です。

※ ◎「良好」…全国平均より5ポイント以上上回っている
○「おおむね良好」…0～5ポイント未満上回っている

スクールカウンセラー

月に1回、スクールカウンセラーの松戸みゆき先生が来校し、保護者へ子育て等について助言・援助等を行っています。

後期の来校日は、10月19日(水)、11月9日(水)、12月7日(水)、1月25日(水)、2月8日(水)、3月3日(金)を予定しています。

カウンセリングは、1回50分ほどですが、時程の調整をする必要がありますので、希望する方は、事前に担任または教頭へお知らせください。



ご連絡

今年度より市内小中学校の通知表の押印欄がなくなります。今回から、通知表を学校へ返却することは不要となります。



市教委より

保護者・地域の皆様へ

皆様におかれましては、日頃より市川市の学校教育に対してご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

市川市教育委員会では、「千葉県版学校における働き方改革推進プラン」に基づき「市川市学校部活動の運営方針」の策定など様々な取組を進めております。

今年度は、平日における教職員・児童生徒の負担軽減策として、令和5年度から夏休み短縮により授業時数を確保する案について、各種団体からの意見の聴取も含め検討してきましたが、本案については見送ることとし、引き続き検討していくことといたしました。今後も「学校における働き方改革」を推進し、学校教育の更なる充実を図ってまいります。

令和4年9月 市川市教育委員会

なお、この件につきましては、教育委員会義務教育課(047-704-0062)にお問い合わせください。